

富士見都市計画下水道の変更（富士見市決定）

柳瀬川雨水ポンプ場の設置について

令和7年11月6日（木）午前10時15分から

富士見市立中央図書館2階 視聴覚ホール

みんな笑顔☆ふじみ
富士見市



公共下水道事業の概要について

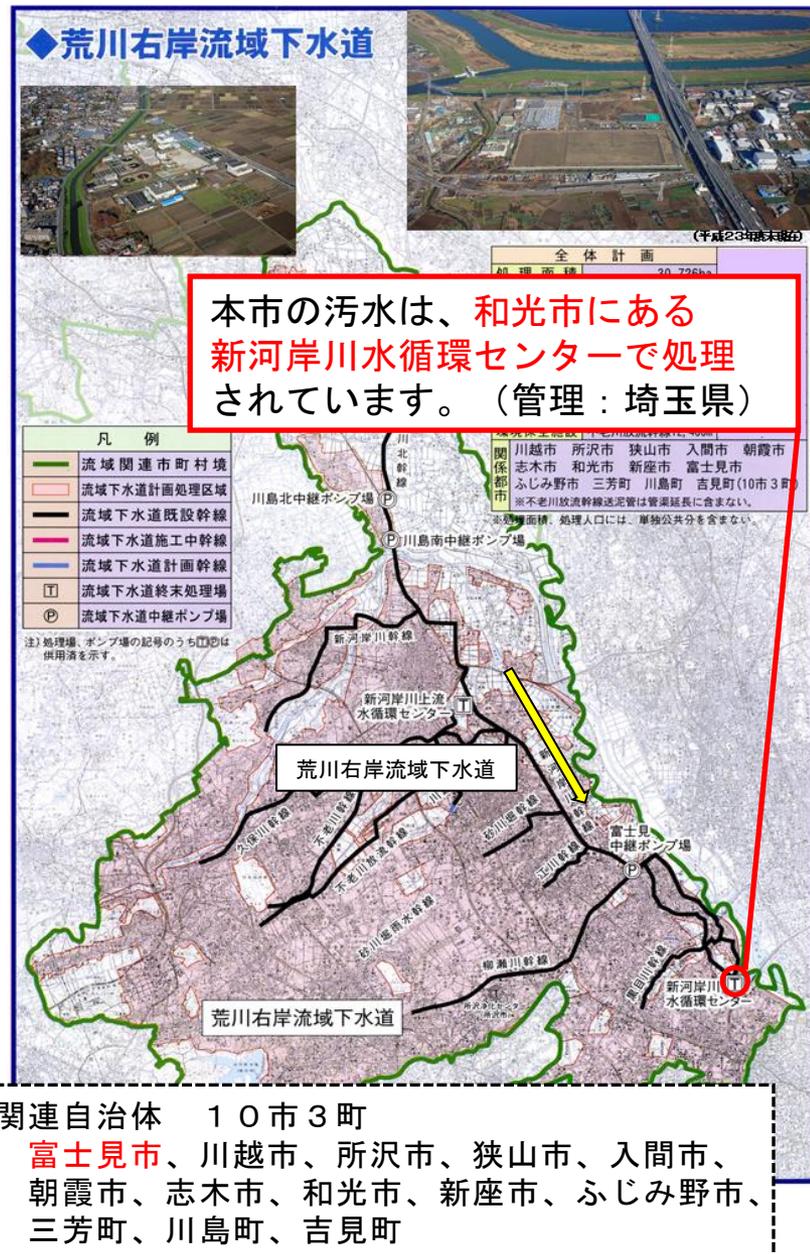
みんな笑顔☆ふじみ
富士見市



富士見市の下水道事業について

昭和46年度、10市1町を計画区域とした荒川右岸流域下水道が埼玉県
の事業として発足しました。現在は、
10市3町となっています。

本市下水道事業は、昭和49年10月
に流域関連公共下水道として事業
認可(汚水・雨水)を取得し、昭和57年
8月に供用を開始しました。荒川右岸
流域下水道事業計画(県)を上位計画
とし、進めています。



下水道の役割

① 街をきれいにする

→ 衛生的な暮らしの確保

② 浸水から守る

→ 安心・安全の確保

③ きれいな水辺をつくる

→ 環境の保全



下水道事業の目的・種類（汚水）

汚水事業

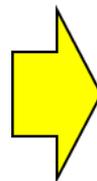
【目的】

下水道法に基づき、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質の保全に資すること

【主な種類】

- ・ 流域下水道事業
- ・ 公共下水道事業
- ・ 特定環境保全公共下水道事業

※青字：現在、市が実施しているもの



具体的な事業

- ・ 老朽化対策
- ・ 耐震化
- ・ 未普及対策
- ・ 不明水対策 など

整備状況について（污水）

全体計画区域（污水） 1508ha

【凡例】

オレンジ破線：行政区域（他市との境目）

赤実線：県の下水道

青実線：市で污水整備を計画している区域

全体計画区域は、行政面積

1977haに対し、**約77%を**

対象としています。

計画区域内を13処理分区に分け

管理しています。



【令和6年度末】

行政面積 (ha)	行政人口 (人) (A)	現計画面積			整備状況		
		全体計画 (ha)	計画決定 (ha)	事業認可 (ha)	整備面積 (ha)	整備人口 (人) (B)	普及率 (%) (B)/(A)
1,977	113,455	1,508	1,326	1,264	1,105	112,217	98.9%

令和6年度末の行政人口
に対する

下水道普及率：98.9%

(県平均：84.0%)

下水道事業の目的・種類（雨水）

雨水事業

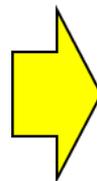
【目的】

水害の少ない安全なまちづくりの確立及び降雨時における
浸水被害の防除

【主な種類】

- ・ 公共下水道事業
- ・ 都市下水路事業

※青字：現在、市が実施しているもの



具体的な事業

- ・ 浸水対策
- ・ 老朽化対策
- ・ 耐震化 など

整備状況について（雨水）

全体計画区域（雨水）1822ha

全体計画区域は、行政面積1977haに対し、**約92%を対象**としています。

公共下水道事業では、雨水ポンプ場を1箇所整備しています。



別所雨水ポンプ場

令和6年度末の行政面積
に対する

整備率：14.0%

行政面積 (ha) (A)	現計画面積			整備状況	
	全体計画 (ha)	計画決定 (ha)	事業認可 (ha)	整備面積 (ha) (B)	整備率 (%) (B) / (A)
1,977	1,823	1,218	575	276	14.0%

変更案の概要について

(柳瀬川雨水ポンプ場の設置)

みんな笑顔☆ふじみ
富士見市



変更の経緯

針ヶ谷地区(柳瀬川第一排水区)では、令和元年10月の東日本台風(台風19号)により、冠水被害が発生した。現状、当該排水区には樋管しかなく、大雨時に柳瀬川に強制排水する施設が無い状況である。

冠水被害の状況



冠水実績：70cm



位置図



柳瀬川雨水ポンプ場の追加

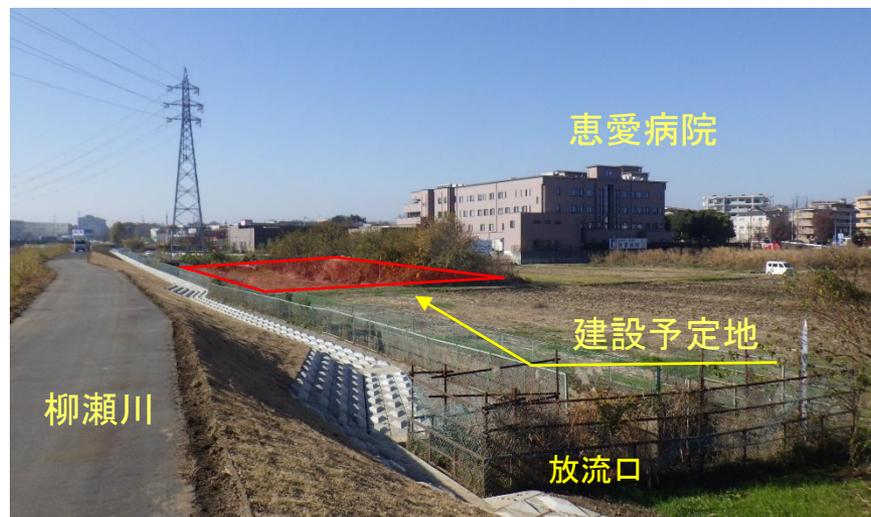
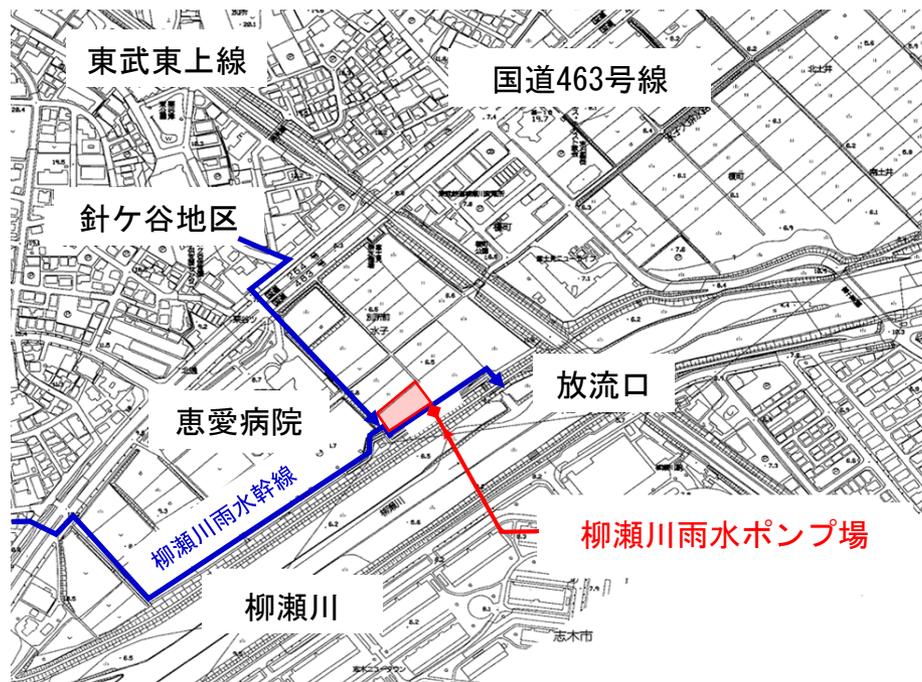
【変更の内容】

近年の台風の大型化や豪雨の頻発化を踏まえ、冠水被害の軽減を目的に、雨水ポンプ場を設置する。

【施設の概要】

針ヶ谷地区の雨水は、雨水幹線（公共下水道）を通じて柳瀬川へ排出します。大雨時、柳瀬川へ雨水を強制排水するため、河川への放流口付近に建設する計画です。

- ・ 雨水排水ポンプ
(排水量：1.4m³/秒)



今後の予定について

